

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	泉佐野市	代表者名	千代松 大耕
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	072-463-1212
担当者役職	参事	担当者氏名	今西 紀彰
住所	598-8550 大阪府泉佐野市市場東1-295-3		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	関 治之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	わかりやすい言葉での「自治体DXの進め方や必要性」についての講演会であり、課題や問題点として気づかせるきっかけ作りができた。また、質疑応答の時間では、和やかな雰囲気、あたりまえの課題や疑問に対しても、職員の意見を尊重した的確なアドバイスがあった。
アドバイザーへの要望事項	来年度も、講演会・研修会やワークショップを随時開催する予定であり、引き続き支援をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年1月19日	17時15分	20時00分		165
3-2. 派遣場所	会場名	エブノ泉の森ホール(泉佐野市立文化会館)		最寄駅	南海本線泉佐野駅
	所在地	大阪府泉佐野市市場東1丁目295番地の1		最寄駅からの交通手段	バス又はタクシー
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員(特別職、管理職)	139人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	各部課をリードする幹部職員に、自治体が直面するDXの必要性が十分に認識されていないこと、加えて、幹部職員を含む職員全体が、「DXの実現により価値ある行政サービスを提供する」という目標を共有できておらず、業務改革を伴うDXに積極的に取り組んでいく体制が取れていない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体が直面するDXの必要性を認識し、DXを進めるために管理職のやるべきこと、デジタル前提でサービス提供のあり方を変革する必要性やそのために必要な思考と能力を理解し、「DXの実現により価値ある行政サービスを提供する」という目標の共有を幹部職員に持たせる。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	下記内容の講演を通じ、これからの自治体職員の役割や管理職のやるべきことについての理解や認識共有ができた。 ①そもそもなぜDXが必要なのか、②DXを進める上で最も重要なこと、③シビックテックについて、④デジタル時代にあった公共サービス、⑤とともにつくる	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	講演を通じ、市の各部課をリードする幹部職員に「DXそのもの」と「今DXへの取り組みが必要とされる理由」の理解を深め、本市のDX推進に基づく施策への積極的な参画を促すきっかけを作ることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今後は、全庁的な研修体制の確立、DXを推進するためのコアとなる職員の育成、ワークショップ型の実践的な研修を実施する必要がある。また、行政事務の効率化や地域の課題解決に向けてスピード感をもって取り組む体制の確保が必要である。	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	「泉佐野市DX推進全体方針」に基づき、総合的かつ効果的に全庁一丸となってDXを強力に推進できるような組織にする。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

